

科目名	地理A	単位数	2	必修選択	選択
教科書	高等学校 新地理A(帝国書院) 地歴高等地図 ―現代世界とその歴史的背景― (帝国書院)				
副教材	図説地理資料 世界の諸地域 NOW(帝国書院)				

教科・科目の内容

高校で学ぶ「地理」には「地理A」と「地理B」があります。「地理A」では世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察します。「地理B」に比べ内容は深くありませんが、地理的なものの見方や考え方を培います。

具体的な内容は地図・地球儀の使い方から始まり、現代世界の地域性や動向を作業的な内容を通してとらえ、地球的規模の課題への考察に発展していきます。また、防災についても学習をしていきます。

日常生活や将来とのつながり

「地理」は学際的な学問と言われます。それは歴史・産業・民俗・社会・自然科学・交通などあらゆる分野に関係をもつ学問だからです。元々、農耕や戦争、統治のために、各地の情報を調査してまとめるための研究領域として成立したので、現在の「地理学」も当然、内容が広範囲に渡ります。よって普段から多角的なものの見方をするような探究心がなければ成り立ちません。

日常生活において、食卓に並ぶ食べ物や、身近にある製品がどこで作られたものなのか、そしてそれがどのようなルートを通して自分のもとにきたのかを考えることで自分と世界の繋がりを感ずることが出来ます。人・モノの移動はグローバル・ボーダレスが当たり前の現代ですが、「地理」の授業では教材は身近なところから始まり、発展させて世界との繋がりを考えていきます。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

普段から身近なモノに対して考える習慣を付けることです。駅の案内板が日本語と他言語で表示されている場合に殆どの人があまり気にすることも無く通り過ぎるかもしれません。しかし、その裏には在日外国人の増加など国際化が進展していることを意味します。これは一例に過ぎませんが普段から、生活環境の何気ないことに疑問符を持って観ることを心掛けてください。これが結果として『地理』とそれ以外の学問に結び付いてくるのです。

到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての字自覚と資質を養う。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(行動観察・プリント点検)

歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。

② 思考・判断・表現 (定期試験・行動観察)

歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

③ 技能(行動観察・定期試験・問題演習)

歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。

④ 知識・理解(定期試験・問題演習)

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2年	地理A	2	高等学校新地理A(帝国書院) 地歴高等地図 ―現代世界とその歴史的背景―(帝国書院)	世界の諸地域NOW(帝国書院)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	第1部 第1章 地球儀や地図からとらえる現代社会 1 地球上の位置と国家 2 グローバル化が進む社会	地球儀・地図を使いこなすための知識や技能を習得する。 航空交通網の発達と人々の生活の変化を理解すると同時に 通信網の発達が世界に与える影響について理解を深める。	○	○	○	○
	第2章 人間生活を取り巻く環境 1 人々の生活と地形 2 人々の生活と気候 3 人々の生活と産業・文化	気候全般についての基本事項を理解する。 ケッペンの気候区分について各気候区の特徴を理解する。 生活を支える農業や工業、生活と宗教の関わりについて理解する。				
	※ 中間試験			○	○	○
	第3章 世界の諸地域の生活・文化 1 中国 2 韓国	中国・韓国の自然環境、歴史と社会、農業や工業といった産業、資源について学び、これらの国と日本との関わりなどを理解する。	○	○		○
	※ 期末試験			○		○
二学期	3 東南アジア 4 南アジア 5 中央・西アジア、北アフリカ	東南アジア・南アジア・西アジアの自然環境、歴史と社会、農業や工業といった産業、資源について学び、これらの国や地域と日本の関わりなどについて理解する。	○	○		○
	※ 中間試験			○		○
	6 サハラ以南のアフリカ 7 ヨーロッパ 8 ロシア	アフリカ・ヨーロッパ・ロシアの自然環境、歴史と社会、農業や工業といった産業、資源について学び、これらの国や地域と日本の関わりなどについて理解する。	○	○		○
	※ 期末試験			○		○
三学期	9 アングロアメリカ 10 ラテンアメリカ 11 オセアニア 第4章 地球的課題と私たち 1 身近にあるさまざまな地図 2 日本の自然環境と防災	アングロアメリカ・ラテンアメリカ・オセアニアの自然環境、歴史と社会、農業や工業といった産業、資源について学び、これらの国や地域と日本の関わりなどについて理解する。 身近な地図の特色を理解し読図の技法を学ぶ。 災害に備えた取り組みについて探究する。	○	○	○	○
	※ 学年末試験			○	○	○

備考	
----	--